

# 6年生 図画工作の課題

令和2年5月12日  
新宿区立柏木小学校

担当：図画工作科 竹内とも子

※学校 HP の「図画工作6年生の課題」も合わせて見てください。

課 題	「透明なものを絵に表すには・・・」 目安45分×4回
-----	-------------------------------

★家にあるコップやワイングラス、空きびんなど、ガラス製の無色透明のものを、その形や質感がわかるように絵に表すためにはどうしたらいいか、よく見て考えて試してみましょう。

透明なものを、平面の絵に表すことは難しいと思います。でも、この課題は、うまくかくことが目的ではありません。形がゆがんでいても、光と影の場所がちがってもいいのです。よく見て、これまで気付かなかったことを発見するために絵に表します。



光と影、ガラスに映るものなどに着目してみましょう。  
・コップの口の部分はどのように見えるのかな？  
・水を入れたらどんな感じに見えるかな？  
・見る高さを変えるとどのように見え方が変わるかな？  
・斜め上からだけでなく、下から見たらどのように見えるかな？  
いろいろな見方で見てみてください。



★少なくとも、白い画用紙と色画用紙それぞれ1つかく。  
★大きさ：八つ切り画用紙半分に一つ程度の大きさ

～ 画用紙全面に一つ程度の大きさ

ポイント！：小さくなりがちなので、実物よりも大きくかきましょう。

注意※ガラスは割れてしまうこともあるので、おうちの方にきいてから、かくものを決めましょう。落として割ったり、けがをしたりしないよう、扱いに気を付けてかきましょう。

題材名	「もう一つの世界」 ※この課題でかいたものは、図画工作の次の学習「もう一つの世界」で使います。
準備	① 画用紙・あい色の色画用紙 各1枚 ※学校から配布します。 ② 無色透明のコップ、その他グラス、空きびんなど ③ 鉛筆（2B～4B）、白と黒の色鉛筆 ④ 消しゴム

## 【見てみよう かいてみよう】



光と影、ガラスにうつるものなどにちきくもきましょう。

- ・コップの口の部分はどのように見えるのかな？
- ・水を入れたらどんな感じに見えるかな？
- ・見る高さを変えると、見え方はどう変わるかな？
- ・斜め上からだけでなく、下から見たらどのように見えるかな？

いろいろな見方で見てみてください。まずは、全体の形がよくわかる方向からかいてみましょう。

下から見たものも面白いですね。

## 【鉛筆でかく】



① だいたいの形をとらえ、軽く印をつけるようにかきましょう。

② かげや、まわりのものが映ることで暗く見える部分は、だいたいの形をとらえ、軽く印をつけるようにかきましょう。

③ 光が当たっている部分、窓が映っている部分など、明るく見えるところは、消しゴムで消して抜いて画用紙の白を生かしましょう。

④ グラスと見比べたり、離れて見たりして、さらにかき進めてみましょう。鉛筆でかいたところを指でこすって中間の濃さにしたり、さらに消しゴムで白く抜いたりします。

## 【白と黒の色鉛筆でかく】



★グラスに水を入れてみました。グラスの厚みがよくわかります。

① 白い色鉛筆で、だいたいの形をとらえ、軽く印をつけるようにかきましょう。あい色の色画用紙を使いましょう。

② 光が当たっている部分、窓が映っている部分など、明るく見えるところをみつけて、白い色鉛筆でかいていきましょう。

③ かげや、まわりのものが映ることで暗く見える部分をみつけて、黒の色鉛筆でかきましましょう。